

構成メンバー・SCのスキルアップ

◎ 板橋区での企画

①第2層SC等研修会（年2～3回）

→第2層SCが事業を進める上で必要な基礎知識・技術・意識等を学べます。

②第2層SC連絡会（年2～3回）

→事業を進める上での各種事務手続きの周知、地域間の情報交換を通じたSC間の顔の見える関係づくりを行います。

③第2層ブロック連絡会（年1回×4ブロック）

→隣接する地域同士での情報交換を通じた地域間のつながりづくりを行います。

→将来的には類似する地域課題のケース検討や研修等を合同で開催したり、担い手同士の交流なども考えられます。

◎ 板橋区以外での企画

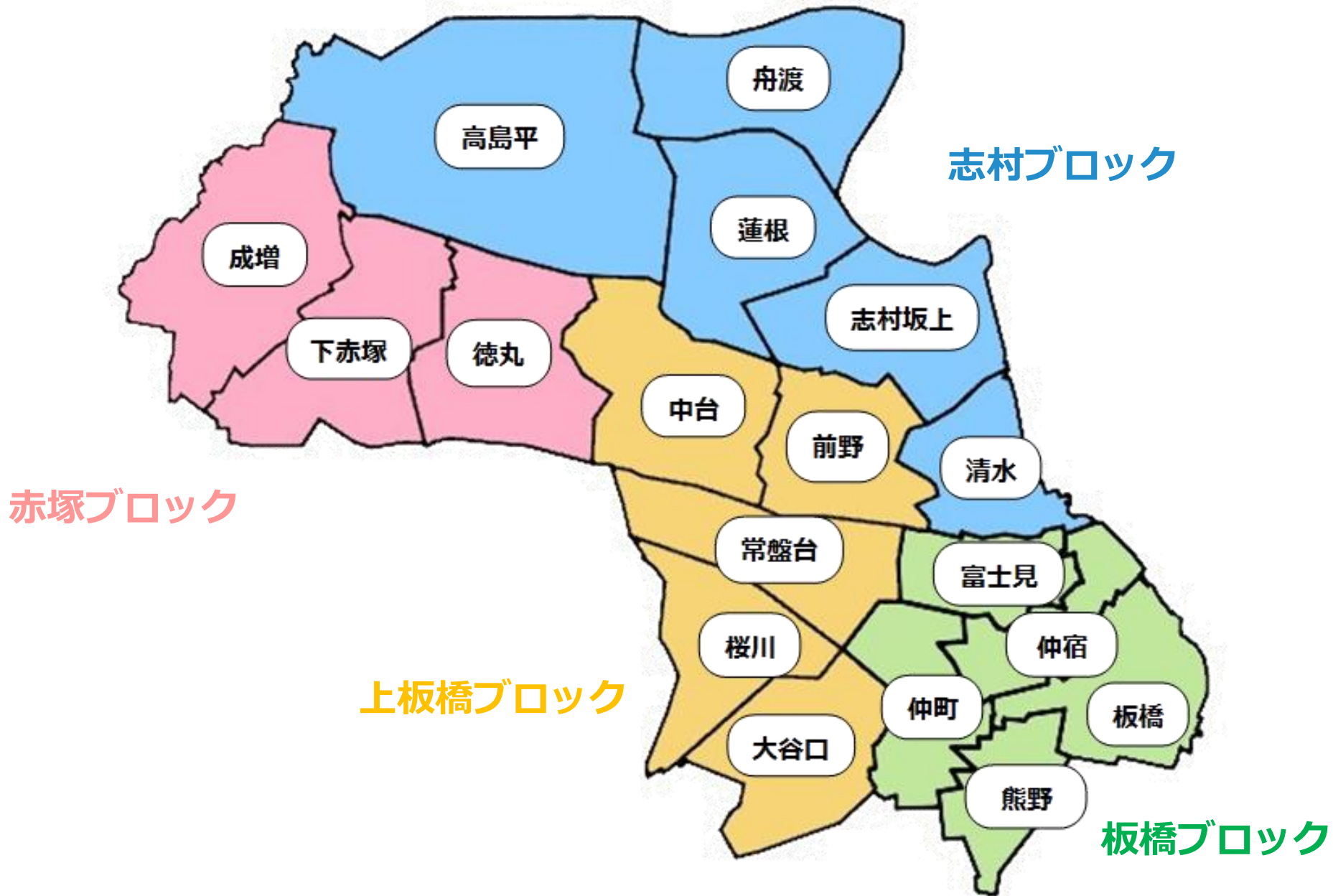
①東京都及び東京都社会福祉協議会のSC研修会・フォーラム

②NPO法人全国コミュニティサポートセンター等による研修・セミナー

③公益財団法人さわやか福祉財団の情報交換会 など

※いずれも情報が入り次第、皆さんにご連絡します。

板橋区第2層地域区分 (全18地域)



板橋区における支え合い会議の役割区分

第1層
(区全域)

第1層 (区全域)

<第1層 (区全域)>

- 第1層支え合い会議
- 区全般の協議・方針決定
- 区市町村連絡会議 など

4ブロック
圏域

板橋 ブロック	上板橋 ブロック	志村 ブロック	赤塚 ブロック
------------	-------------	------------	------------

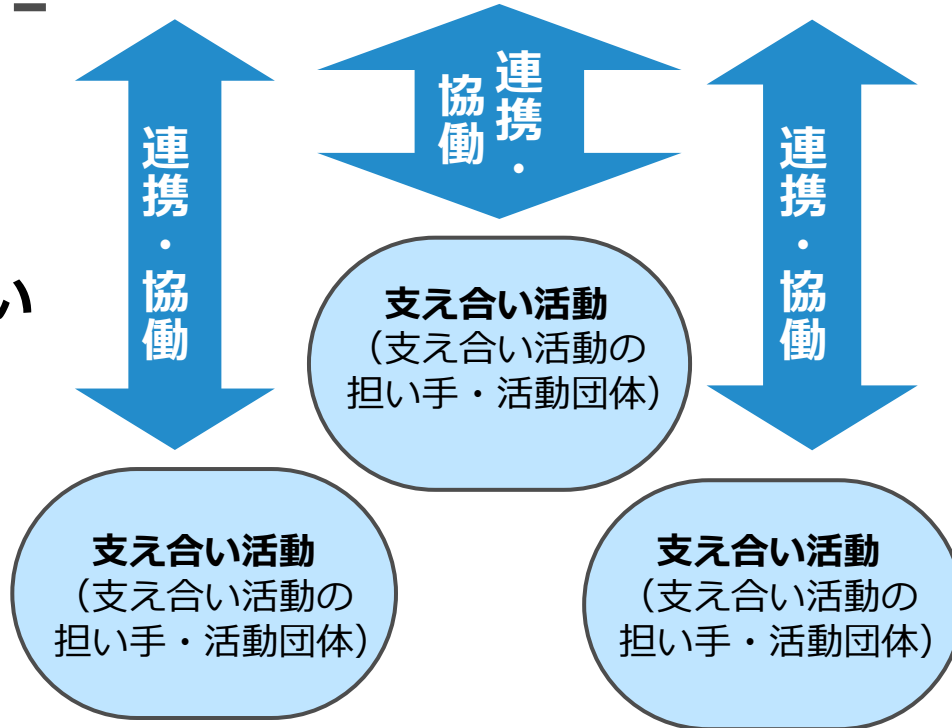
<4ブロック圏域>

- 第2層生活支援コーディネーター支援
- 第2層支え合い会議運営支援
- 担い手づくり・仕組みづくりの支援
- 第2層合同研修会
- 第2層連絡会
- 広域の連絡調整 など

第2層
(18地域)

第2層 (18地域センター圏域)

支え合い
活動



<第2層 (18地域) ※15ページ参照>

- 第2層支え合い会議
- 地域ならではの支え合いの仕組みづくり
- 地域内の連絡調整 など

<支え合い活動>

- 地域ならではのそれぞれの支え合い活動の場

支え合い会議は「お互いさまのつながりづくり」を推進します②

◎ 「お互いさまのつながりづくり」を推進するための“3つの取組み”

3つの取組み

高齢者の
参加促進



具体的な取組みなど

【つなげる】 支え合い活動の見える化・情報発信

【つながる】 活動者同士のネットワークづくり

【仲間探し】 支え合い活動の仲間づくりの支援

支え合い活動の
充実・強化・推進



【知る・調べる】 地域ニーズや困りごとなどの把握

【体験・呼びかけ】 地域との協働・企画

その他支え合いの
仕組みづくり

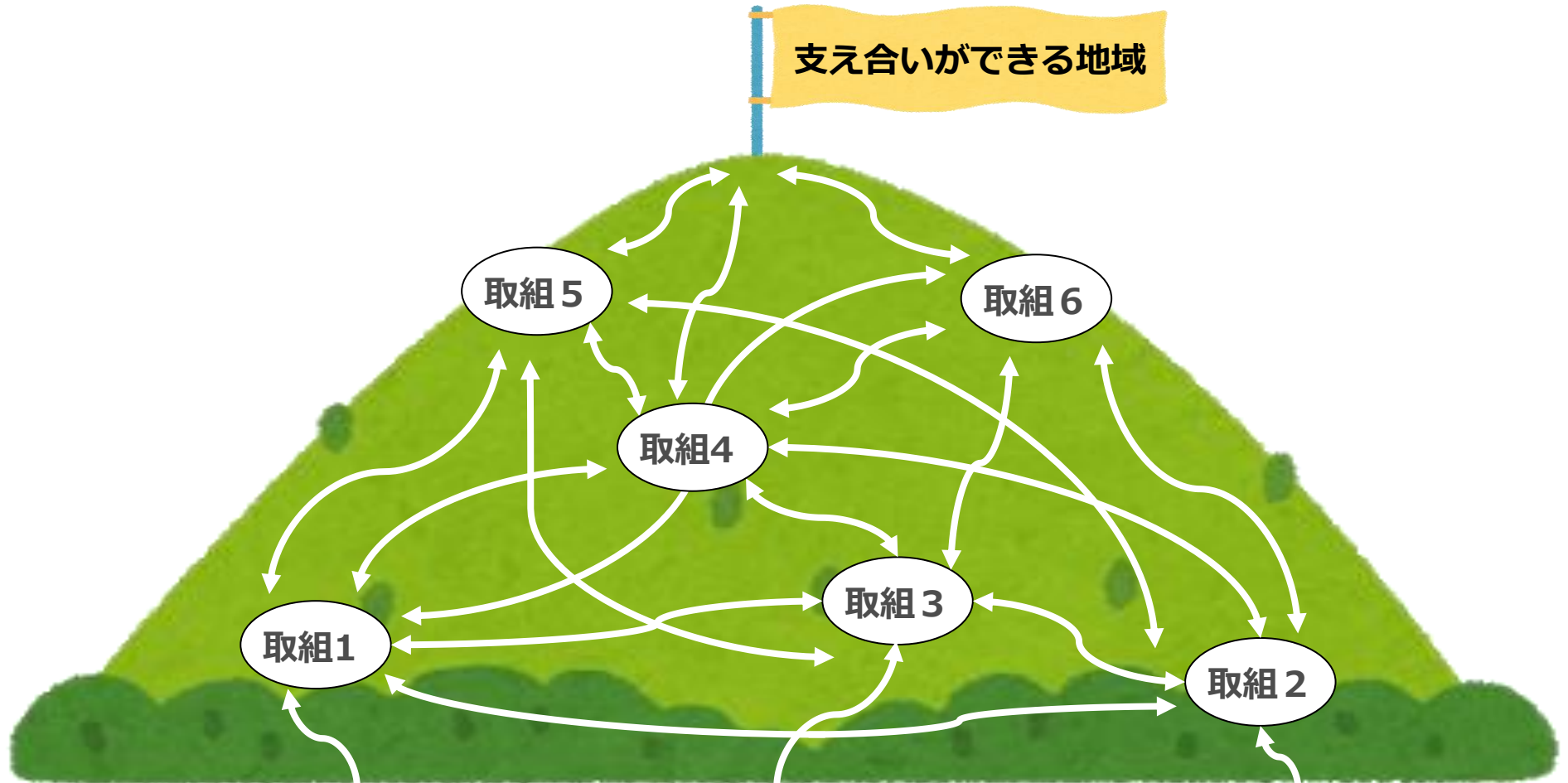


【つながる】 関係機関のネットワークづくり

取組みを進めていくイメージ

◎ 支え合いの地域づくりを“山登り”に例えると…

実際の山の登り方は「地域それぞれ」であり、「どの地域もこう登れ！」とはなりません。頂上（=支え合いができる地域）までのルートやスピードも様々です。



※このガイドブックやSCの手引きは、山を登る上での“指南書”のようなものです。

【出典】東京都健康長寿医療センター研究所資料（藤原佳典） ※一部改変

板橋区・いたばし社協・地域包括支援センターの関わり

◎ 支え合い会議の運営や取組みについて寄り添って考えながら、応援し続けます

板橋区及びいたばし社協、地域包括支援センターは、地域づくりに関する考え方の整理やヒントを出したり、知っている事例を提供したり、無理なくできる範囲で力を合わせながら支え合い会議の取組みを応援します。

以下の4つについて“無理なくできること”をしながら、地域に寄り添います！！

学び合う

- 各種研修会、連絡会の開催
(SC研修会、SC連絡会・第2層研修会)
- 外部研修・勉強会の案内
- 他自治体の活動調査・視察

支え合う

- 資料作成などの事務補佐
- 支え合い会議の運営上のアドバイス
(打合せでの共同検討、アイデア出し等)
- 運営費管理の補佐

つなぎ合う

- 支え合い会議では難しい事例への対応
- 各専門機関への連絡・調整
(個別ケースに対する相談等)
- 各地域や他自治体の情報提供・調整

出し合う

- 企画等の開催時のマンパワーの提供
- 専門職、専門知識、施設(場所)の活用・調整

専門職・専門機関との連携・協働

◎ 支え合い会議（第2層協議体）で解決が難しいことは専門職・専門機関に相談しましょう

医療や介護保険の専門職・専門機関と協働・連携することで、問題の解決につながります。

ここでは、一部の専門職・専門機関を紹介します。

	専門職 / 専門機関	内容
①	おとしより相談センター (地域包括支援センター)	<ul style="list-style-type: none">・ 住み慣れたまちで、いつまでも安心して生活できるよう、高齢者のみなさんを支えるための総合的な相談窓口です。・ 保健師、看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職員が連携しながら、高齢者とその家族を支援します。
②	ケアマネージャー (介護支援専門員)	<ul style="list-style-type: none">・ 介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるように、ケアプラン（サービス計画書）の作成やサービス事業者との調整を行います。
③	リハビリ職 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など)	<ul style="list-style-type: none">・ 病院や介護保険の事業所などに勤務し、それぞれの方の自立を目指し、運動、活動、コミュニケーション等の療法により支援します。・ 「板橋区地域リハビリテーションネットワーク」という団体を作り、リハビリ職の専門性を活かして住民主体の介護予防（10の筋トレ）や自立支援活動をサポートしています。また、地域リハビリテーションの普及啓発、必要な会議への参加、個別相談等を行っています。
④	デイサービス (通所介護)	<ul style="list-style-type: none">・ 主に在宅で介護を受けている高齢者が通って利用する介護保険サービスです。・ 身体を動かすことや、仲間ができる社交の場を提供することで、閉じこもりや孤立の防止等につながります。・ 毎日介護を行っている家族の負担軽減も大きな役割を担います。

支え合い会議は「地域にある支え合い活動の応援団」です

◎今すでに地域にある活動は、いずれも地域にとって大切なものです！

たとえば…

“多様性”にあふれる「地域の支え合い活動」

老人クラブ

町会・自治会

サロン

民生・児童委員

一緒に買い物

ボランティア

お茶飲み仲間

NPO

電球交換

犬の散歩仲間

声掛け・挨拶

体操・スポーツの集まり

趣味の集まり

おかずのおすそ分け

見守り

スクールガード



支え合い会議は、これらの活動の“つながりづくり”などを**できる範囲で応援します！**

★ みんなはどういう工夫をしているの？

★ 活動を長く続けていくためにはどうする？

★ もっと参加者（仲間）を増やすにはどうする？

★ まだ知らない人にどうやって広める？

★ それぞれの活動をつなげてみたら、面白いことができるかも？ などなど